



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会
連絡先
志津南市民センター
(公民館) 563-6206

わが町10大ニュース

- 協働のまちづくり検討委員会が発足(2月)
草津市の「協働のまちづくり」説明会が7日にあり、市側が概要を説明。終了後の自治連臨時会議で検討委の設置を決め、委員長に妹尾志郎氏を選出。まめバス試験運行、若草診療所前に停留所(11月)
草津市が新たな公共交通手段として導入を検討している「まめバス」が11月から運行実験。若草診療所前停留所が設置され来年試験運行が行われる。
- 46年ぶりの日食に歓声(7月)
子ども会は22日、市民センターで日食観察会を実施。46年ぶりの皆既日食とあって、親子ら53人が参加、雲間に見えた“欠けた太陽”に大きな歓声。志津南小児童が芸術創造館で熱演(10月)
「滋賀教育の日」プログラムの1つ、ふれあいコンサートが21日、しが県民芸術創造館で開かれ、プロとともに、4年生が「こわれた千の楽器」を熱演。ふれあい夏まつりに昨年上回る4000人(7月)
第22回志津南ふれあい夏まつりが25日、中央公園を会場に繰り上げられた。昨年を上回る約4000人が参加、雨模様だったが、数々のイベントを堪能した。自治連21年度会長に小野氏が初の3選(3月)
29日に行われた21年度総会で会長に小野栄祐さん(5丁目)を選出、志津南自治連合会となつてから初の3選会長が誕生した。
- 一斉清掃が5、9、11月の年3回に(4月)
今年から町内一斉清掃が年3回と1回増えたほか、7月清掃を5月に繰り上げ。5、11月は住民全体、9月は老人ク、社協などによる有償ボランティア。住民の半数が家具転倒防止策講じる(1月)
自主防災連絡会が実施した災害に関するアンケートで地震発生に備えて約半数の住民が家具などの転倒防止対策をとっていることが分かった。社協、担い手づくりを重点事業に(4月)
志津南地区社会福祉協議会(上田恒章会長)は19日総会を開き、21年度事業の重点計画として、高齢者の「活動の担い手」発掘を盛り込んだ。ソフトボールクラブが近畿大会に出場(10月)
若草ソフトボールクラブ(降矢義夫代表)50歳以上(実年)の部が県予選を勝ち抜き、3、4日に和歌山で行われた全国大会に出場したが、惜しくも初戦敗退。

「まちづくり協議会」次年度設置見送り



課題多く梓組み見えず 市の動向見守ることに

まちづくり検討委員会(妹尾志郎委員長)は11月7日開いた委員会「写真で、草津市が推進しようとしている新たなまちづくりシステム「協働のまちづくり協議会」の設置について、次年度からの発足を見送ること

市は、2年前から協議会発足を支援するため、各市民センター職員を一名増員して取り組んでいますが、見るべき成果は表れていません。

市自治連合会は10月26日の研修会でこの問題について、市長と話し合いの場を持ちました。市が提唱する協議会は行政サービスの一部を官から民(地域)へ委譲、新たな行政システムを

構築し地域内分権を推進しようというものです。研修会は、システムの基本的な事項は全学(地)区に共通するものでなければならぬことから、行政と住民双方の合意形成が必要との考えで行われました。

行政内部の取り組み、行政との整合性などについて意見交換が行われ、解決すべき課題の共有化が図られたところです。解決に時を要する課題もあり、3年後(平成24年4月)の全学(地)区への展開をめどに整備していくことを確認しました。

少子高齢化が加速するこれからは、助け合って暮らしていくまちづくりが、より求められます。役員が交代しても「ぶれない町づくり・地域活動」が継続的に行われる仕組みを必要としていることは事実です。その手段として、「協働のまちづくり協議会」の設置を検討してきましたが、行政の動向を見極めて対応していくことが必要と判断し、次年度以降の状況を見ながら進めていくことにしたものです。

開発から25年が過ぎた今、高齢社会に向けた町づくりについて、まちの目指す姿、町づくりの指標を地域住民みんなが共有していく必要があります。まちづくりの指標を確立しておけば、行政の地域内分権にはいつでも柔軟に対応できます。

自治連合会ではこのようなことから「協働のまちづくり方針(案)」を町内会各種団体に提示し意見を伺っています。

近く住民の皆様のご意見をお伺いし、これからの「まちづくり指標」として作り上げていきたいと考えています。

(自治連会長 小野栄祐)

中央児童公園で消火訓練



志津南自主防災連絡会は11月22日午後、若草中央児童公園で約60人が参加して消火訓練を行いました。写真。

午前中の「秋の一斉清掃」に引き続き行われた訓練でしたが、心配された天候もなんとかもち無事、実施できました。

訓練では、家庭用小型消火器の取り扱い方、訓練用放水消火器の放水の仕方など、南消防署員4人に指導してもらいました。(志津南地区自主防災連絡会)

年末火災をなくしましょう

年末は慌しさの中で火災が多発する時期です。火災予防に努めるとともに、火災が発生した時は、まずは自分の身を守り、

次に近所で助け合いましょう。避難場所の確認や非常時持出し袋の中身の点検を行いましょう。火災警報器の設置

平成21年6月1日から、すべてのお宅に住宅用火災警報器の設置が必要となりました。まだ設置されていないお宅は、早急に設置してください。

設置が必要な場所は寝室と避難経路となる階段、台所です。台所の場合、調理の煙や蒸気が滞留する場所は、熱式の警報器にすることができま。

老朽消火器の破損事故

古くなった加圧式消火器の破損事故が発生しています。消火器は使用しなくても長年の間に老朽化します。容器の耐用年数は消火器本体に貼ってある銘板に表示されており、保管状態がよい場合で、8年を目安として下さい。異常を発見した場合は専門業者による点検を受けま。

購入、点検、処分を希望の方は12月末までに、班長さんに申し出て下さい。防災委員が取りまとめます。ただし、申し込みが少数の時は斡旋できない場合もあります。(志津南地区自主防災連絡会)

一斉清掃に760人



志津南地区の秋の一斉清掃が11月22日に行われました。

午前8時30分、参加者約760人が清掃道具を手に最寄りの公園に集合。落ち葉集めや植栽の刈り込みなどを行い、同10時には19カ所の集積場は刈り草や落ち葉が大きな山を築きました。写真。

日ごろからボランティアによる各公園の手入

れなども行われており、前日には各町内の役員さん方が機械作業を中心に各公園の草刈りや木の剪定などを行っていただいたお陰で、当日の作業はこれまでに軽く減されました。また、毎回多くの子どもたちも保護者と同伴で清掃作業に参

社協がGゴルフ大会



加していますが、新型インフルエンザの影響で自粛していただきました。残念ながら落ち葉は八分程度集めた後からあとから枯れ葉がばらばらと、せつかく清掃した路面に舞い落ちていました。(福利環境部)

を行いました。歓声、悲鳴が入り乱れ、大いに盛り上がる中、各人16ホールの熱戦を繰り広げました。結果は次の通り。

- 優勝 6丁目
- 2位 4丁目
- 3位 5丁目
- 個人戦
- 優勝 須田圭一さん(39打)
- 2位 増田智都子さん(41打)
- 3位 奥田隆三さん(41打)

志津南地区社会福祉協議会は11月15日、地域高齢者の健康維持、一層の親睦を深めようと、恒例の第5回グラウンドゴルフ大会を開催しました。写真。

飾り巻きずしつくる

天候も良く、若草中央公園の紅葉やドウダンツツジが真っ赤に色づく中、役員を含め60人が参加。町内対抗、上位5人の成績による団体戦および個人戦

見た目にも楽しい飾り巻きずしの講習会を12月3日、志津南市民センター(公民館)で行いました。託児ありで小さいお

子さんを連れて若いお母さんを含め15人の参加がありました。メニューは昨年好評だったバラに加え、今年はパンダ、手まりずし。写真に挑戦しました。悪戦苦闘したのがパンダの目、耳、鼻などパーツを作り最後に組み立てです。うまくできているか不安でしたが、切り口からパンダやバラが出てきた時は大喜びでした。



お母さんと別れて泣いていた子どもも「パンダだぁー」と喜んで食べていました。短い時間でしたが、みなさんに喜んでいただき楽しい時間を過ごせました。クリスマス、お正月にぜひ、おいしい飾り巻きずしを家族の皆さんに作ってあげて下さい。健康推進員の今年の講座は今回で終了です。また来年もいろいろ楽しいことを考えていきたいと思っています。皆さんの参加をお待ちしています。(健康推進連絡協議会)

わんぱくがダム・工場見学

わんぱくプラザ南っ子・地域協働高校」で11月14日、地域の子どもと協力者合わせて54人が京都府南丹市の食品工場と日吉ダムを見学しました。写真約2時間、途中事故の渋滞に巻き込まれましたが、たいした遅



れもなく到着しました。最初の訪問先は、石井食品のミートボール工場。見学前にマスク、帽子、白衣で身支度して消毒。徹底した衛生管理に戸惑いながら工場の中へ。入るとおもしろい匂いがして子どもらは興味津々。「無添加調理で、安心して食べられます」とビデオなどで説明を聞き、いよいよ実際に作っている所をガラス窓越しにのぞき込んで、玉ねぎとミンチがあつという間に丸い小さなボールになってレーンに乗ってくるのを見て、歓声を上げていました。続いて、出来立てのミートボールなどを試食「お

いしい。スープもあるよ」と大満足でした。次は、日吉ダムを見学。まずビクターセンターで「水の話」のビデオやダムの説明を聞いたあと、巨大なダムへ。ダムの内

教養講座「古今東西」終わる

今年度の教養文化講座「古今東西」は「滋賀自慢 見る！聞く！考える！」と題して、20



人の受講生を迎え、4回実施しました。第1回は7月28日に比叡山飯室不動堂、大阿闍梨・酒井雄哉さんを訪ねて身近な時事情報

部施設にも入って見学、その大きさと迫力に圧倒された様子でした。少し遠出になりましたが、車窓からの紅葉を満喫しながら、無事公民館に帰ってきました。

そば打ち講座好評

活力のある地域と、住みよいまちづくりを進めるために、団塊の世代の多才な趣味を生かした地域デビューのきっかけにしてもらおうと、11月28日、団塊世代の男性を対象にした「そば打ち」講座を開催しました。写真。

とのど越しの味わいに感慨無量の様子でした。会場の調理室は、男性ばかりの普段見慣れない調理風景でしたが、参加者からは、「この地域にはいろんな人材がいらっ



を交えたお話を聞きました。第2回9月9日には、淡水湖に浮かぶ島に日本唯一、人が住んでいる沖島へ。近江八幡市街側からは見られない景色やきれいな湖水を目の当たりにし、澄んだ空気とゆったり流れる時間を感じながら島内をめぐり、「沖島」の古くから語り伝えられる歴史なども興味深く聴講しました。第3回は11月11日。秋雨の中、紅葉真っ盛りの金剛輪寺「写真」から豊郷の町へ。岡村本

家の酒蔵や旧豊郷小学校校舎を見学。ふる里を思い、まちづくりに奮闘されている方々の話を聞きました。第4回は12月2日に今年度のもうひとつの大きなテーマ「環境」の総仕上げとして、湖南中部浄化センターと、企業の環境投資を見学するため、イオンモール草津のバックヤードを体験、今年度の講座を終えました。来年度もたくさんの方の参加をお待ちしています。

しゃるから何かできないかな、また「自分たちも、これを機会に興味を生かし、交流の輪を広げたいな」「次も、機会があれば参加したい」などの声が聞かれ、今後の活躍が期待されることです。

1月11日に左義長

志津南地区自治連合会では、恒例の左義長を平成22年1月11日(日)午前9時から11時半までの間、若草中央児童公園で開催します。

お正月の飾りつけやお札類、お子さんの書き初めなどを焼きます。是非ともご利用下さい。但し、飾りつけのみかんやビニール袋、一般ごみなどは持ち込まないで下さい。

こみみ

- 12月19日(土) 健康ウォーキング 8:45 若草中央公園集合 ふれあいミュージックソン 13:00~21:00
- 12月20日(日) 歌いつぎたい日本の歌 みんなで歌うふれあいの会 10:00~11:30
- 12月22日(火) 志津南小学校終業式
- 12月26日(土) 社会奉仕 8:45 若草中央公園集合
- 1月5日(火) 新春書初め大会 9:00~12:30 子ども会
- 1月8日(金) 定例健康相談日 9:30~12:00 市健康推進課 ふれあい昼食会 12:00~13:00 ボランティア「泉」
- 1月11日(月) 成人式 しが県民芸術創造館
- 1月12日(火) 地域サロン：懐メロを歌う会 10:00~11:30 印の会場は志津南市民センター(公民館)です



志津南小のグラウンド(校庭)

の一角で10人ほどが体育館から洩れる明かりを頼りにボールを勢よく蹴っている。その都度乾いた音が人気(ひとけ)のない校庭に響く。

フットサルサークル「ワイルド・タック」の面々だ。「はて、フットサルは屋内競技のはずだが?」。練習を見守る代表の森本篤人さん(30)。「若草7丁目」に疑問をぶつけると、森本さんは「ええ、そうなんです、

と苦笑い。

志津南小の体育館は蹴ったボールの衝撃に耐えられないで仕方なく...

た得点が入りやすく、バスケットボール感覚に近いという。これが魅力で最近、競技人口が増えているそうだ。

高穂中で森本さんから指導を受け、当初からのメンバーである堀祐樹さん(25)。「若草6丁目」は「気軽にでき、サッカーを知らない人でも楽しめる。体を常に動かし、楽しく体力づくりができる」とフットサルの魅力を語る。高校時代にサッカー経験があり、今年春から加わったという大学生の潤井健人さん(20)。「若草1丁目」も「試合に勝つ時はもちろん、プレーが合ってくるのが楽しい。ハマっている」とこぼす。

フットサルの起源は二つあるといわれる。一つは南米を中心としたサッカー・フットボール。もう一つは、サッカーの母国イギリスで生まれ、欧米豪などに広まったインドア・サッカー。FIFA(国際サッカー連盟)に加盟(のちに脱退)、05年にサッカー協会内にあるFIFAフットサル連盟(約30チーム)に加盟し、月一回のペースで年間10数試合をこなしている。昨年までは一部リーグにとどまっていたが、入れ替え戦に敗れ二部に転落した。ベストメンバーが早く、動きがめまぐるしい。まるで臨んだが「いい試合したのに

なんで負けたのか」と不思議の負けに悔しい思いをしたことも。代表 森本篤人 会員 20人 活動 毎週土曜日午後6時から9時まで、志津南小グラウンド。会費 年額2万円 連絡先 森本代表 電話090(4299)6887

フットサル Wild Tuck

展開の早さが魅力

がルールの統一を図り、集まった。チーム名は「ワイルドタック」からとったそうだが、大方みんな準備、競技名をフットサルに統一した。その後、滋賀県フットサル連盟に加盟(のちに脱退)、05年にサッカー協会内にあるFIFAフットサル連盟(約30チーム)に加盟し、月一回のペースで年間10数試合をこなしている。昨年までは一部リーグにとどまっていたが、入れ替え戦に敗れ二部に転落した。ベストメンバーが早く、動きがめまぐるしい。まるで臨んだが「いい試合したのに

11月に行われた全国大会進出をかけた県予選は残念ながら突破はならなかったが、次なる目標「一部リーグ復帰」を目指し、「毎日の練習を大切にしていきたい」と気持ちを引き締める森本さん。みんなでエールを送る。

メモ

照明代節約のため? 体育館から洩れる明かりで練習



照明代節約のため? 体育館から洩れる明かりで練習



公民館にXマスツリー

志津南市民センター(公民館)のサロンにクリスマスツリーがお目見えしました。やすらぎ学級の学級生が飾り付けしてくれました。12月19日(土)の「ふれあいミュージックソン」に向けて、ムードを盛り上げてくれています。

公民館で一斉清掃

自主教室や各種団体など利用者による公民館(市民センター)の一斉清掃が11月27日行われ、建物の内も外もすっかりきれいになりました。

場所 志津南市民センター 対象 市内在住 在勤の人で、子育て中の保護者歓迎 (応募多数の場合は抽選) 託児あり。申込み時に予約必要 受講料 三百円(申込み時) 材料費 五百円程度(当日) 持ち物 エプロン・三角巾・布巾・マスク 申し込み 12月21日(月)の午前10時から1月9日(土)午後3時までを受講料を添えて志津南市民センターへ

休館日のお知らせ

志津南市民センター(公民館)は平成21年12月29日(火)から平成22年1月3日(日)まで、休館します。また、1月3日(毎月第一日)曜日開設の市役所1階市民課の「特設窓口」も年末年始の休日にあたるため休止します。

第2回食育講座募集

草津産「米粉」を使ってデザート作りを楽しむ食育講座を開催します。ふるってご参加下さい。

日時 1月22日(金)午前10時~12時 募集定員 20人